

NISA・iDeCoの1分で基礎知識

国家がお勧め2大制度

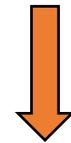
投資

NISA(ニーサ)



非課税

減税



資産形成

年金

iDeCo(イデコ)



「一億総株主」
「資産所得倍増プラン」



既存NISA

2023
年終了



一般NISA

年120万円まで
売却益、配当金
5年間非課税
(本当は20.315%)

上場株、外国株、
投資信託、REIT
(不動産投資信託)など

併用不可



2023
年終了

つみたてNISA

年40万円まで
売却益、配当金
20年間非課税
(本当は20.315%)

金融庁が認めた
投資信託
(低コスト、長期安定運用)

確定申告ナシ

税金気にせず、
簡単に投資

新NISA

2024年開始



成長投資枠

つみたてNISA枠

年240万円
生涯1200万円まで
上場株・投資信託等

年120万円まで
金融庁が認めた
投資信託の積立

売却益、配当金 無期限非課税(×20.315%)
生涯1800万円まで
国内18歳以上(×未成年) いつでも売却可
既存NISAとは新旧分離 … 全員ゼロから

既存NISA



2023年
終了
一般NISA

2018 年分 一般 NISA	2018年 1年目 購入 120万円	2019年 2年目 運用	2020年 3年目 運用	2021年 4年目 運用	2022年 5年目 運用 終了
--------------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------------

ロールオーバー
(継続保有)

2023 年分 一般 NISA	2023年 1年目 購入 120万円	2024年 2年目 運用	2025年 3年目 運用	2026年 4年目 運用	2027年 5年目 運用 終了
--------------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------------

既存NISA



2023
年終了
一般NISA

2018 年分 一般 NISA	2018年 1年目 購入 120万円	2019年 2年目 運用	2020年 3年目 運用	2021年 4年目 運用	2022年 5年目 運用 終了
--------------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------------

ロールオーバー
(継続保有)

新しい
NISA

2024 年分 成長 投資	2024年 1年目 購入 240万円	2025年~ 無期限 運用
------------------------	-----------------------------	---------------------

既存NISA



2023
年終了
一般NISA

2023 年分 一般 NISA	2023年 1年目 購入 120万円	2024年 2年目 運用	2025年 3年目 運用	2026年 4年目 運用	2027年 5年目 運用 終了
--------------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------------

ロールオーバー
(継続保有)

新しい
NISA

2028 年分 成長 投資	2028年 1年目 購入 240万円	2029年~ 無期限
		運用

NISAとiDeCo

9年やった

驚きの結果



「NISA・iDeCo 不要論」を一蹴するぜ！

■ NISA口座運用状況

取引件数の増加により、本画面および「NISA・つみたてNISA」タブ配下の各画面の情報更新処理が遅延することがございます。お取引には影響ございません。

NISA口座内における手数料を考慮した累積損益が表示されます。

「現在の評価金額」、「累積受取配当・分配金」、「累積売却金額」の合計値から、「累積買付金額」を差し引いて算出します。

対象年	口座区分	[A] 評価額(前日時点) [円]	[B] 累積受取配当・ 分配金[円]	[C] 累積売却金額 [円]	[D] 累積買付金額 [円]	[A]+[B]+[C]-[D] 累積損益 [円]
合計 (手数料を含みます)	-	4,664,195	343,492	1,152	3,729,068	+1,279,771

■ 年別取引履歴

合計 (手数料を含みませ ん)		4,664,195	343,492	2,311,932	6,038,236	+1,281,383
<u>2023</u>	NISA	1,605,400	58,183	0	1,519,200	+144,383
<u>2022</u>	NISA	79,570	87,348	0	127,340	+39,578
<u>2021</u>	NISA	1,284,595	46,610	0	1,189,955	+141,250
<u>2020</u>	NISA	1,147,700	38,550	0	1,046,700	+139,550
<u>2019</u>	NISA	546,930	28,600	0	615,680	-40,150
<u>2018</u>	NISA	0	21,950	1,519,200	725,560	+815,590
<u>2017</u>	NISA	0	21,500	0	0	+21,500
<u>2016</u>	NISA	0	21,500	270,980	259,600	+32,880
<u>2015</u>	NISA	0	14,501	2	1	+14,502
<u>2014</u>	NISA	0	4,750	521,750	554,200	-27,700

国内株式

注文	銘柄	保有数量 [株]	平均取得 価額[円]	前日終値 [円]	評価額 [円]	評価損益 [円] 損益率	取引 詳細
 	25935 伊藤園第1種優先	100	2,408.00	1,822.0	182,200	-58,600 -24.33 %	詳細
 	2634 NFS&P500ヘッジ有	100	2,363.00	2,018.0	201,800	-34,500 -14.60 %	詳細
 	3099 三越伊勢丹HD	100	854.80	1,726.5	172,650	+87,170 +101.97 %	詳細
 	3197 すかいらーくHD	100	1,570.00	2,017.0	201,700	+44,700 +28.47 %	詳細
 	3563 FOOD&LIFE COMPAN	400	2,598.00	2,496.0	998,400	-40,800 -3.92 %	詳細
 	3990 UUUUM	100	3,060.00	685.0	68,500	-237,500 -77.61 %	詳細
 	4301 アミューズ	100	1,999.00	1,549.0	154,900	-45,000 -22.51 %	詳細
 	4712 KEYHOLDER	10	960.00	893.0	8,930	-670 -6.97 %	詳細
 	4751 サイバーエージェント	100	1,273.40	795.7	79,570	-47,770 -37.51 %	詳細
 	4839 WOWOW	100	1,999.00	1,118.0	111,800	-88,100 -44.07 %	詳細
 	6178 日本郵政	100	802.80	1,231.0	123,100	+42,820 +53.33 %	詳細
 	7832 バンダイナムコHLDGS	300	1,802.66	3,061.0	924,300	+383,501 +70.91 %	詳細
 	9468 KADOKAWA	200	2,400.00	3,035.0	607,000	+127,000 +26.45 %	詳細
 	9783 ベネッセホールディングス	100	2,798.00	1,831.5	183,150	-96,650 -34.54 %	詳細
 	9861 吉野家ホールディングス	100	1,907.00	2,785.5	278,550	+87,850 +46.06 %	詳細
				合計	4,296,550	+123,451	

投資信託

対象がありません

投資信託(つみたてNISA)

対象がありません

米国株式

通貨表示: 円貨 外貨

注文	銘柄	保有数量 [株]	平均取得 価額[円]	前日終値 [USD]	評価額 [円]	評価損益 [円] 損益率	取引 詳細
 	SPYD SPDR ポートフォリオS&P 500 高配当株式ETF	70	4,676.95	35.0700	367,645	+40,259 +12.29 %	詳細
				合計	367,645	+40,259	

NISA 配当・分配金

 配当・分配金の見方

対象年に受取られた配当・分配金の合計を表示しています。

対象年	合計	国内株式 [円]	投資信託 [円]	米国株式 [円]	中国株式 [円]	アセアン株式 [円]
合計	343,492	314,760	1	28,731	0	0
2023	58,183	46,700	0	11,483	0	0
2022	87,348	71,010	0	16,338	0	0
2021	46,610	45,700	0	910	0	0
2020	38,550	38,550	0	0	0	0
2019	28,600	28,600	0	0	0	0
2018	21,950	21,950	0	0	0	0
2017	21,500	21,500	0	0	0	0
2016	21,500	21,500	0	0	0	0
2015	14,501	14,500	1	0	0	0
2014	4,750	4,750	0	0	0	0

※ 国内株式の配当金を非課税で受取るには株式数比例配分方式を選択いただく必要があります。

山田真哉の一般NISAの成績は？

2014~2023年

投資額
3,729,068円
(年平均 414,340円)



2019年12月31日
評価額 2,174,800円
+19,759円



2020年3月12日
評価額 2,369,050円
-292,559円



2020年11月5日
評価額 3,543,240円
+897,494円

山田真哉の一般NISAの成績は？

2014~2023年

投資額
3,729,068円
(年平均 414,340円)



2021年11月23日

評価額 5,175,840円

+ 2,123,620円

日経平均
29,774円



2022年6月17日

評価額 4,731,140円

+ 957,606円



2023年6月23日

評価額 4,971,483円

+ 1,243,567円

山田真哉の一般NISAの成績は？



2023年10月03日
評価額 4,664,195円
+936,279円



一般NISA 9年間の実績
投資 3,729,068円
含み益 **+936,279円**
配当金 **+343,492円**
= 累計 **+5,008,839円**
(損益率 **+34.3%**)

山田真哉のiDeCoの成績は？

海外投信

2015～2023年

拠出**2,254,000円**
(月23,000円 年276,000円)



2020年2月7日

損益 **+195,169円**
(損益率) **+15.7%**



2020年3月31日

損益 **-292,559円**
(損益率) **-9.8%**



2020年11月4日

損益 **+82,290円**
(損益率) **+5.7%**

山田真哉のiDeCoの成績は？

海外投信

2015～2023年

拠出**2,254,000円**
(月23,000円 年276,000円)



2021年11月21日

損益 **+693,623円**
(損益率) **+39.7%**



2022年6月17日

損益 **+590,183円**
(損益率) **+30.9%**



2023年6月22日

損益 **+888,197円**
(損益率) **+40.6%**

山田真哉のiDeCoの成績は？



2023年10月3日

損益 **+927,643円**
(損益率) **+41.2%**

拠出金2,254,000×税率30%
=676,200円 →減税効果



iDeCo	8年間の実績
拠出	2,254,000円
含み益	+927,643円
減税	+676,200円
=累計	+3,857,843円
(損益率)	+71.2%

NISAとiDeCoを8年やった結果

(2022年)

一般NISA 8年間の実績
投資 3,729,068円
含み益 +957,606円
配当金 +213,988円
=累計 4,900,662円
(損益率 +31.4%)

個別株

投資5,638,068円



7,972,545円

儲け+2,334,477円

+41.7%



iDeCo 7年間の実績
拠出 1,909,000円
含み益 +590,183円
減税 +572,700円
=累計 3,071,883円
(損益率 +60.9%)

海外投信

NISAとiDeCoを8年やった結果

(2023年)

一般NISA 9年間の実績
投資 3,729,068円
含み益 +936,279円
配当金 +343,492円
=累計 5,008,839円
(損益率 +34.3%)

個別株

iDeCo 8年間の実績
拠出 2,254,000円
含み益 +927,643円
減税 +676,200円
=累計 3,857,843円
(損益率 +71.2%)

海外投信

投資5,983,068円



8,866,682円

儲け +2,883,614円

+48.2%



NISA・iDeCoの1分で基礎知識



裏の目的

投資

NISA(ニーサ)



金融庁

外国人投資家が3割

→安全保障上の問題

→日本国民株主を増やす

年金

iDeCo(イデコ)



厚労省

老後2000万円問題

→公的年金だけではムリ

→第2年金

NISA課税問題



国のお勧め制度

投資

NISA(ニーサ)



Nippon Individual Saving Account
少額投資**非課税**制度

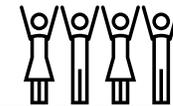
確定申告ナシ
税金気にせず、簡単に投資



証券会社・銀行
NISA口座

↓
売却益・配当金
非課税

NISAにも課税か!?



課税が決まった時(法改正前)に
売却すればいい

NISA・iDeCo不要論

投資

NISA(ニーサ)



たしかに**非課税**

月3万円投資、利回り3%

$30,000\text{円} \times 3\% \times 20\%$

= 180円

→少額のためにやる？

新NISA

2024年開始



年240万円
生涯1200万円まで
上場株・投資信託等

年120万円まで
金融庁が認めた
投資信託の積立

売却益、配当金 無期限非課税(×20.315%)
生涯1800万円まで(非課税保有限度額)

投資信託（ファンド）の分類

アクティブファンド



**プロ投資家が
株を選んで売買**

テーマ型(AI、DX、5G、
カーボンニュートラル、フィンテックなど)

手数料(信託報酬)お高め
1~2%

インデックスファンド

指数(インデックス)に連動

**日経平均
TOPIX
S&P500**

指数プロバイダー
(日本経済新聞社、東証、
S&Pダウ・ジョーンズ、MSCI、FTSE)

手数料安い 1%未満



新NISAの神動画を全部見た 結論・感想

投資のやり方

一括投資 or 積立投資
⇒ 一括投資が有利だが
人それぞれ



何を買う？

つみたて投資枠、成長投資枠ともに
eMAXIS Slim 全世界株式(オルカン)

S&P500のインデックスファン
ド

全米株式の //

- × アクティブファンド
- × 個別銘柄
- × 日本株

新NISAはお得。
活用しよう！



※本動画は特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではありません。
最終的な投資決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

新しいNISAに向けて ～投資信託、どう選ぶ！？～

2023年10月7日（土）

楽天証券資産づくり研究所 副所長 兼 ファンドアナリスト

CFP®（日本FP協会認定）

1級ファイナンシャル・プランニング技能士

篠田 尚子

節税効果の大きい制度（口座）を優先する

税優遇あり

1

確定拠出年金（企業型、個人型 = iDeCo）

保有可能な金融商品： 定期預金、投資信託など

保有が認められていない金融商品： 現物株式、債券など

2024年より新制度にリニューアル

2

一般NISA

保有可能な金融商品：
国内・海外株式、投資信託、
ETFなど

保有が認められていない金融商品： 預金、個人向け国債など

つみたてNISA

保有可能な金融商品： 投資信託のうち、
金融庁によって定められた要件を満たす
銘柄のみ

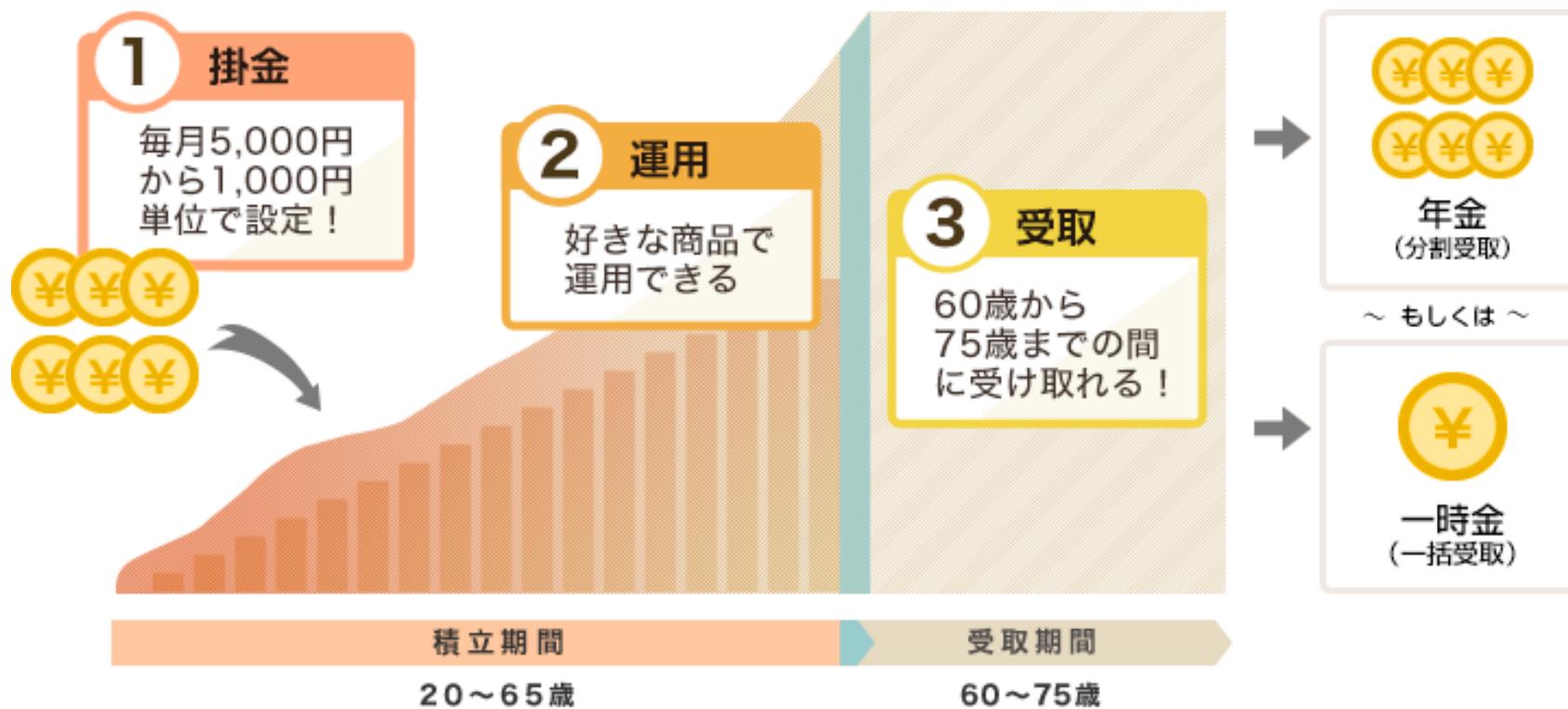
3

課税口座（特定口座、一般口座）

特定口座： 証券会社が口座保有者に代わって譲渡損益等を計算し、年間取引報告書を作成する制度

確定拠出型年金制度（iDeCo）のしくみ

毎月または月ごとに金額を指定し、決まった額の「掛金」を積み立てて、資金を自分で運用する。運用したお金は、60歳以降に年金か一時金の形で受け取ることができる。



■ 第2号被保険者または任意加入被保険者であれば、60歳以降、65歳に到達するまで掛金の拠出が可能。

iDeCo最大の魅力は三段階の節税メリット

● 拠出時

👉 ポイント

- 掛金は**全額**が小規模企業共済等掛金控除として**所得控除**される
- 所得金額に応じて、毎年数万円～十数万円が節税できる

年末調整でOK

● 運用時

👉 ポイント

- 売却益、利息、配当等は**全額非課税**（通常は20.315%）
- 非課税期間の上限もなし

● 受取時

👉 ポイント

- 一時金として受け取る場合は**退職所得控除**、
- 年金として受け取る場合は**公的年金控除**が受けられる

新NISA、3つのポイントをチェック

1 投資上限金額の拡大

【つみたてNISA】	年間40万円 (月額33,333円)	→	【つみたて投資枠】	年間 120万円 (月額10万円)
【一般NISA】	年間120万円		【成長投資枠】	年間 240万円

2 非課税期間の無期限化

【つみたてNISA】	最長20年	→	【つみたて投資枠】	無期限
【一般NISA】	最長5年		【成長投資枠】	無期限

3 成長投資枠が新設 + 生涯非課税限度額の拡大

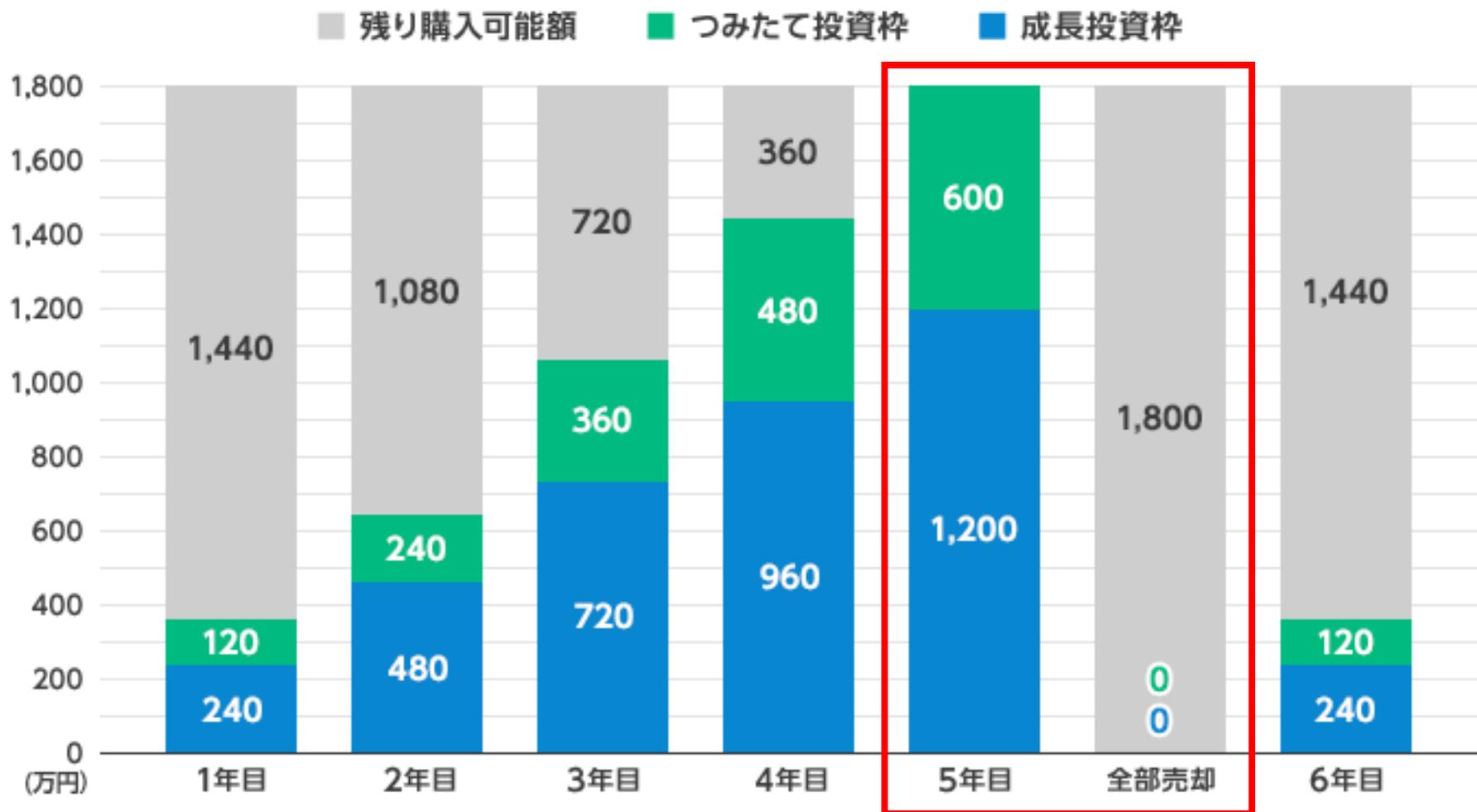
【つみたてNISA】	最大800万円	→	【つみたて投資枠】	最大 1,800万円 売却すればその分を新たに非課税で投資可能
【一般NISA】	最大600万円		【成長投資枠】	最大 1,200万円 (つみたて投資枠と合計で1,800万円まで) 売却すればその分を新たに非課税で投資可能

新NISAでは「使いながら増やす」ことも可能に

項目	現行NISA		新NISA	
	つみたてNISA	一般NISA	つみたて投資枠	成長投資枠
制度実施期間	～2042年末 2024年以降は新規の買付不可	～2023年末	2024年1月～ 制度恒久化	
制度選択	併用不可		併用可	
非課税投資枠の管理	年間買付額を管理	年間買付額を管理	生涯非課税限度額（総枠）を管理 簿価ベース（＝取得価額）	
最大利用可能額	800万円	600万円	1,800万円	内数として 1,200万円
年間投資上限額	40万円	120万円	120万円	240万円
投資可能期間	最大20年	最大5年	無期限	
加入可能年齢	18歳以上	18歳以上	18歳以上	
購入方法	積立	スポット・積立	積立	スポット・積立
対象商品	投資信託 (金融庁が指定する銘柄)	株式・投資信託	つみたてNISAと同じ	株式・投資信託 (一部対象除外あり)
非課税保有期間	20年	5年	無期限	無期限
ロールオーバー (移管)	－	可	つみたてNISAから不可	一般NISAから不可

「非課税枠の再利用」とは？

新NISA非課税枠活用の仕組み



投資信託選びの心得

ウォーレン・バフェットの「金持ちになるための2つのルール」

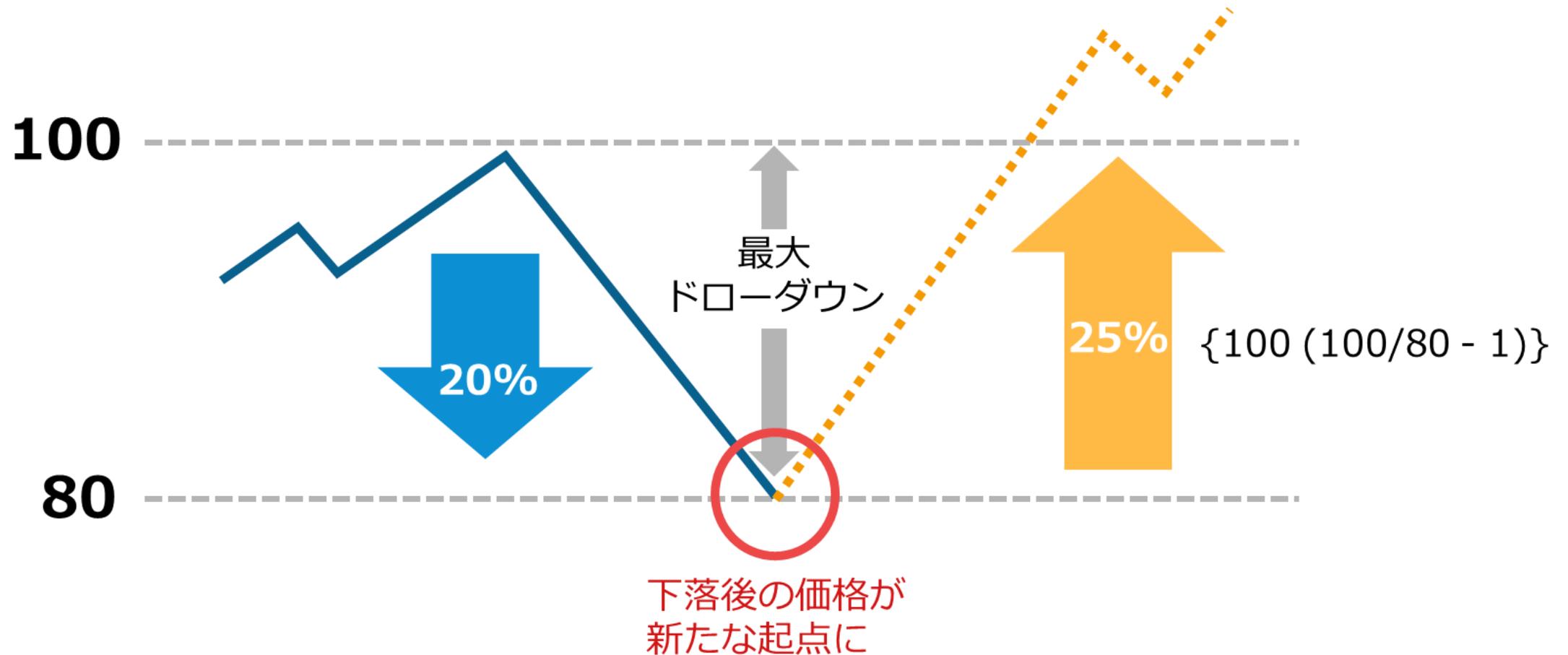
【ルール1】絶対に損をしないこと

Never lose money.

【ルール2】ルール1を忘れないこと

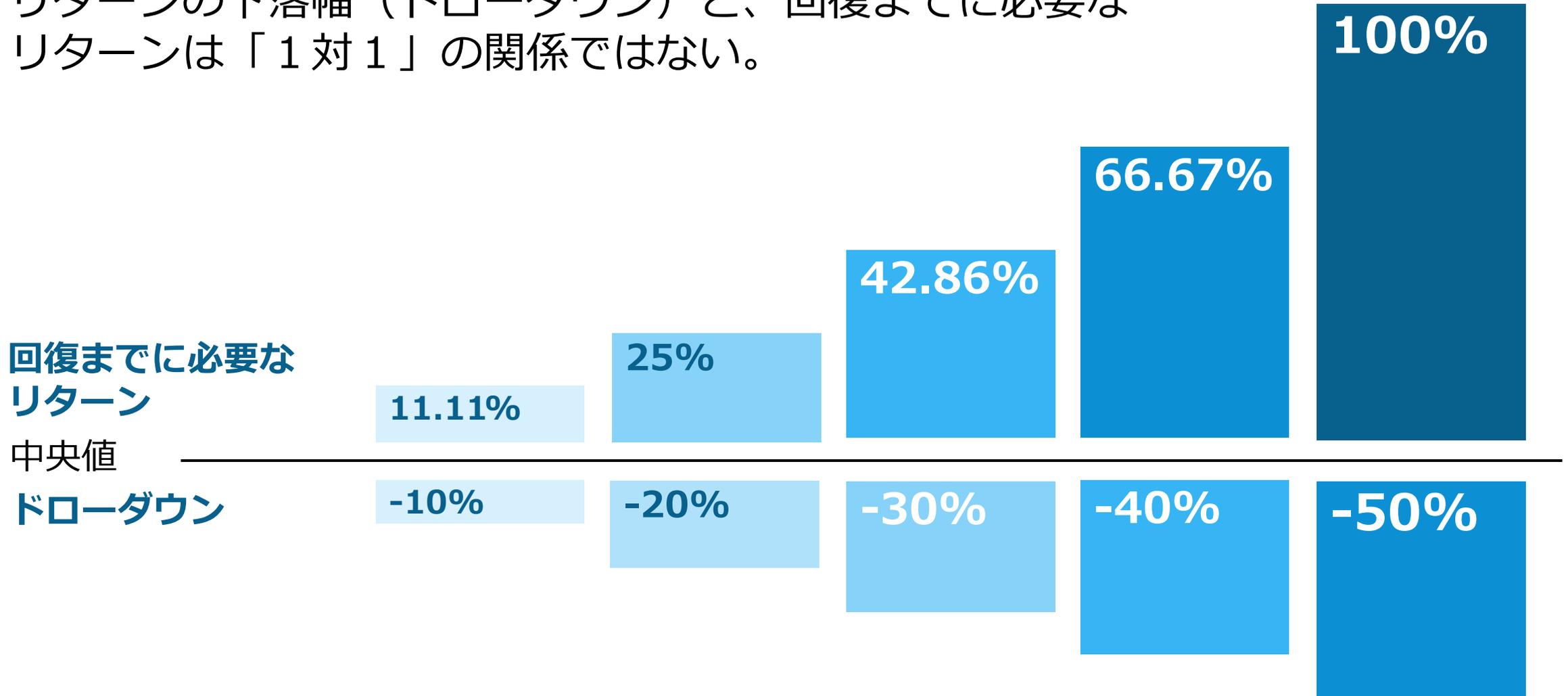
Never forget rule No.1

一度大きく痛んでしまうと、回復までに多大なエネルギーが必要に
資産価格が下落すると、下落後の価格を起点として回復を目指すことになる。



リターンの非対称性

リターンの下落幅（ドローダウン）と、回復までに必要なリターンは「1対1」の関係ではない。



覚えておきたい投資信託の3つのタイプ

インデックス型

- 日経225やニューヨーク・ダウなど、特定の市場平均インデックスに連動した運用成果を目指す。
- 「全国どこでも安定した味を提供するチェーン店」

アクティブ型

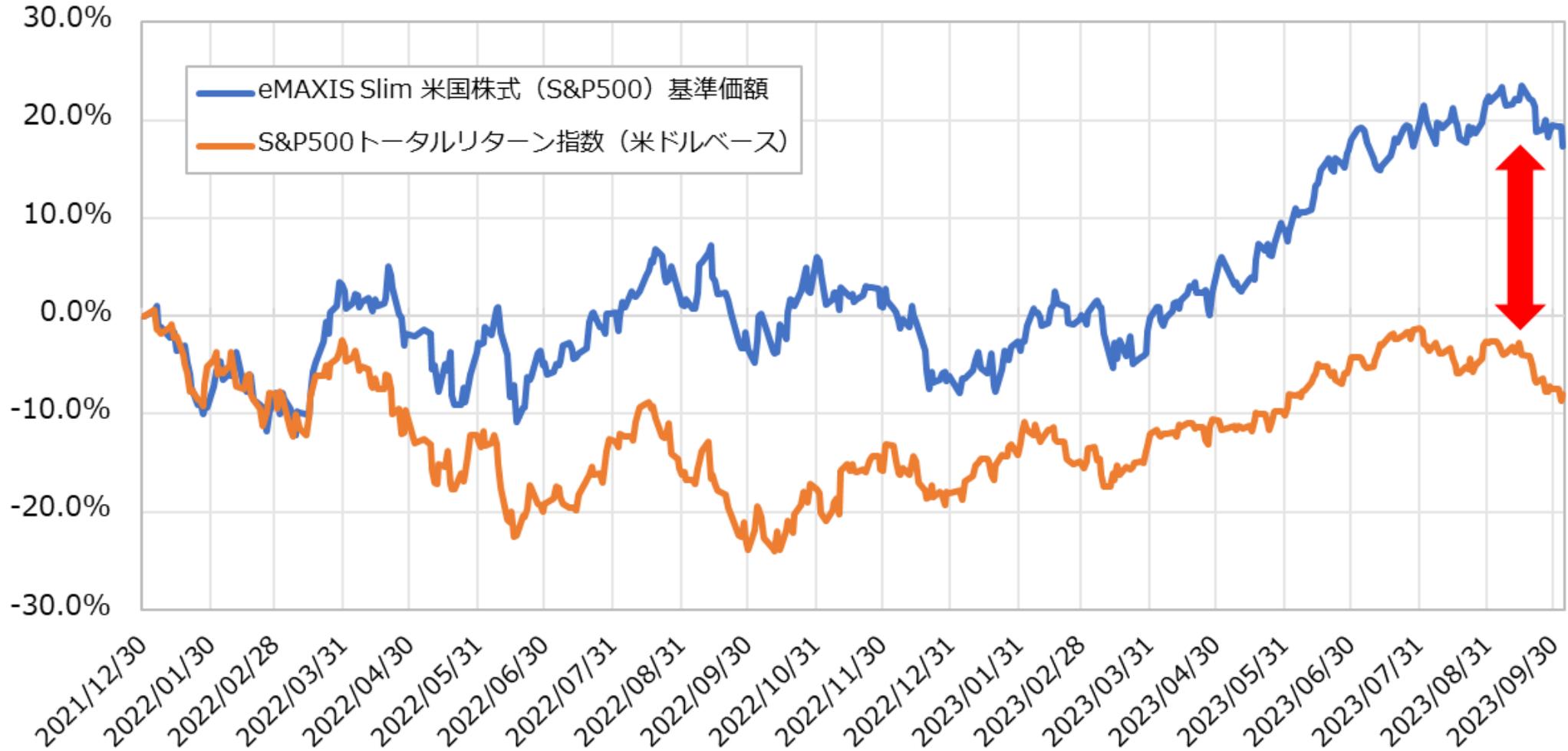
- インデックスよりも高いリターン、あるいは、低いリスクを追求して柔軟な運用を行う。
- 「シェフが腕を振るう、こだわりのビストロ」

バランス型

- 株式、債券、リートなど、複数の資産、地域に分散投資を行う。
- 「ワンプレートランチ」、「シェフのおまかせコース」 = 1本でも完結。

急激な円安進行は錯覚を引き起こす

S&P500指数とインデックスファンドのリターン推移



※QUICK、S&Pのデータを基に楽天証券資産づくり研究所作成

アクティブファンドを選ぶ目的

インデックス（市場平均）より・・・

高いリターン
を追求したい



and/or

リスク
を抑えたい



アクティブファンドの“Active”が意味するのは**柔軟性**

アクティブファンドを選ぶときに押さえないポイント

1

最初からコストだけで判断しない

⇒ リターンは信託報酬率控除後の値。最初から信託報酬で商品を絞り込むと、「木を見て森を見ず」状態になってしまう。

2

「大負け」しない投資信託に注目する

⇒ 基準価額が一度大きく下がってしまうと、再び同じ水準に戻すために多大なエネルギーを要する。だからこそ、相場下落時のリスクコントロールが重要。



基準価額の上昇と下落は**一対ではない!**

実は難しい、バランス型の評価

- バランス型の場合、同じカテゴリー内のファンドが全く同じ資産配分（またはリスク水準）であることは極めて稀
- 市場環境が良好なときは、リスク水準が大きいファンドが高評価となり、不調なときは、リスク水準が小さいファンドが高評価となる傾向が強い



相対評価が困難

バランス型、評価のポイントは・・・

- ① 資産配分の効率性 = **シャープレシオ**
- ② 投資方針で掲げた目標を実現できているか
= **「有言実行」かどうか**

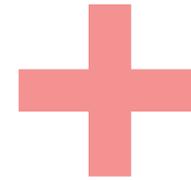
ファンドアナリストの着眼点

優先項目①

- リターン
- シャープレシオ
- 各種ファンドスコア

優先項目②

- 償還までの年数
- 規模（純資産残高）
など



- 運用体制
- ファンドマネジャー
- リスク管理姿勢
- 情報開示姿勢
- ガバナンス

など

定量情報

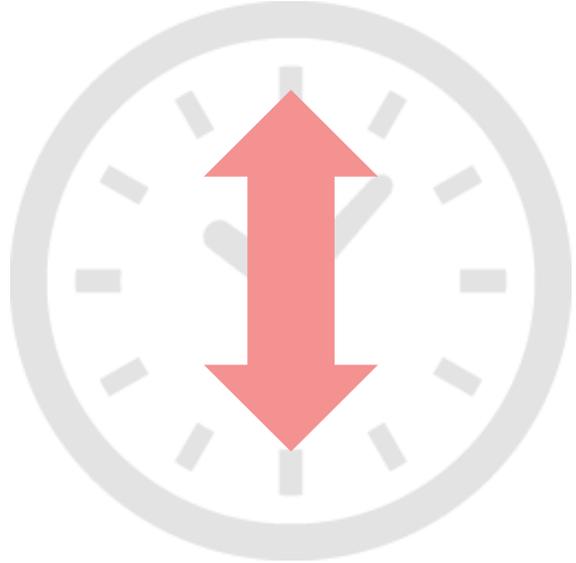
定性情報

リスクと上手く付き合うためのコツ

2種類の「分散」を正しく理解する

時間分散

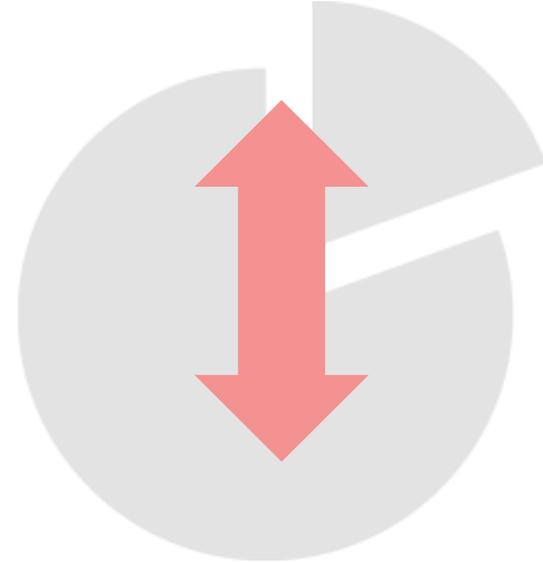
投資するタイミングを**複数回**に分散させること



ただ投資信託を長期間寝かせておいても、時間分散の効果は十分に得られない

資産分散

値動きの異なる複数の資産に資金を分散させること

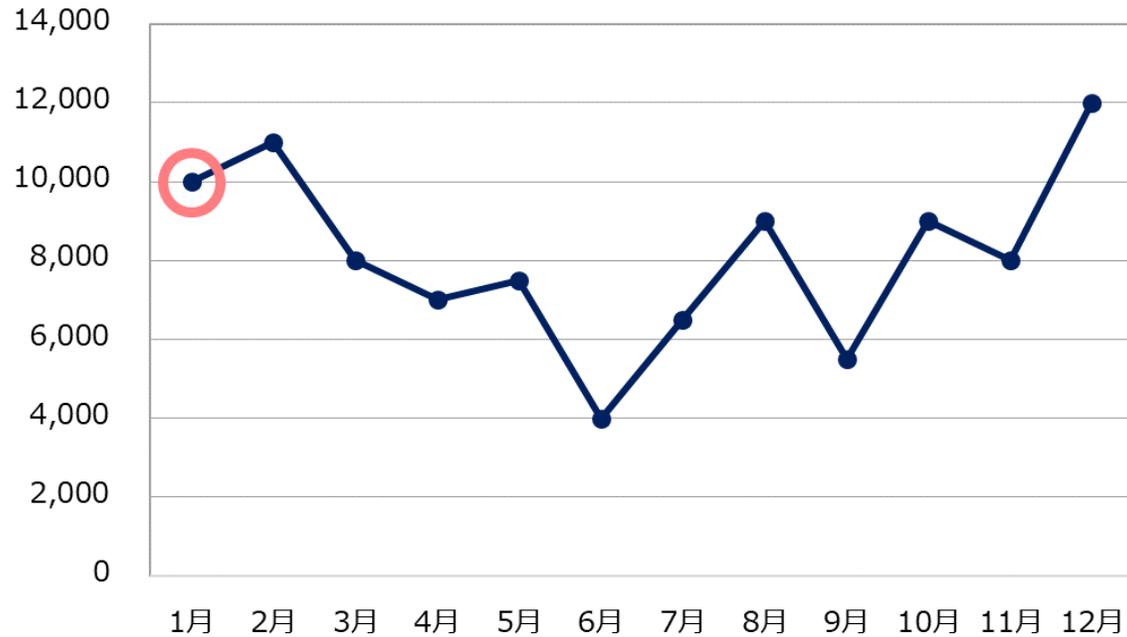


似た値動きをする資産を複数保有しても、資産分散の効果は十分に得られない

時間分散を自動的に実現できる「積立投資」

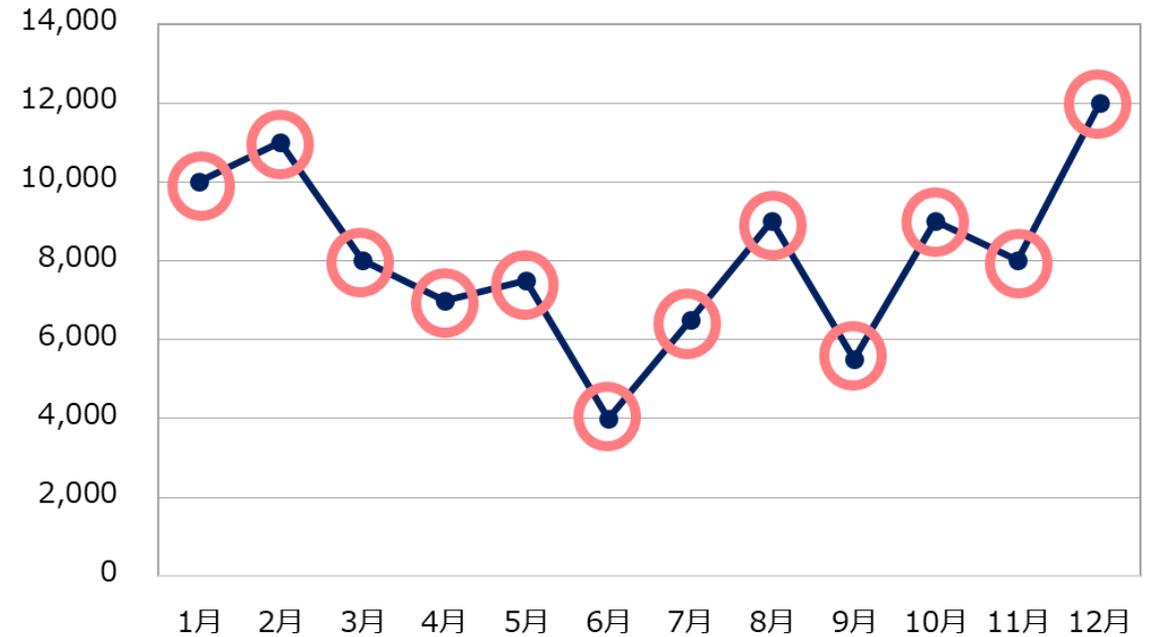
一括投資（スポット購入）

ある一定時点でまとまった金額を購入する方法



積立投資

ある一定の間隔で、一定の金額ずつ同じ銘柄を買い付けていく方法



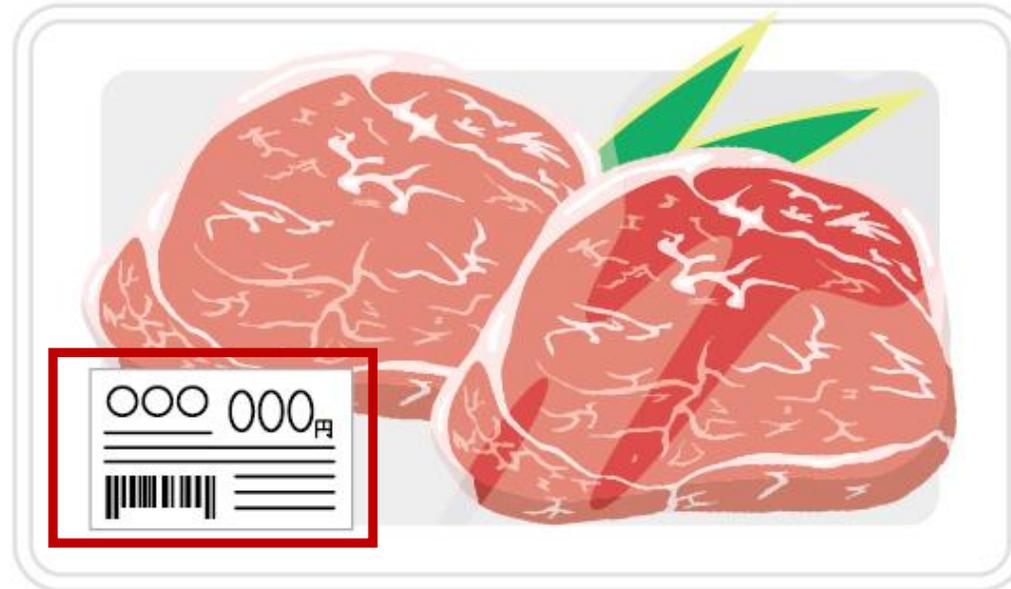
積立を理解する上で重要な2つの投資信託用語

- **基準価額**（きじゅんかがく）：投資信託の値段
- **口数**（くちすう）：投資信託の取引単位

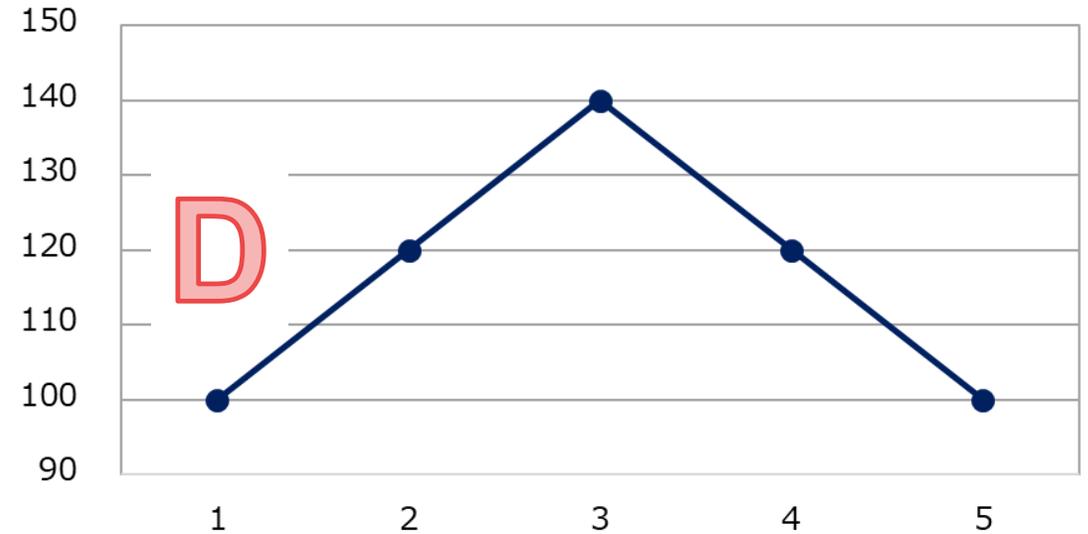
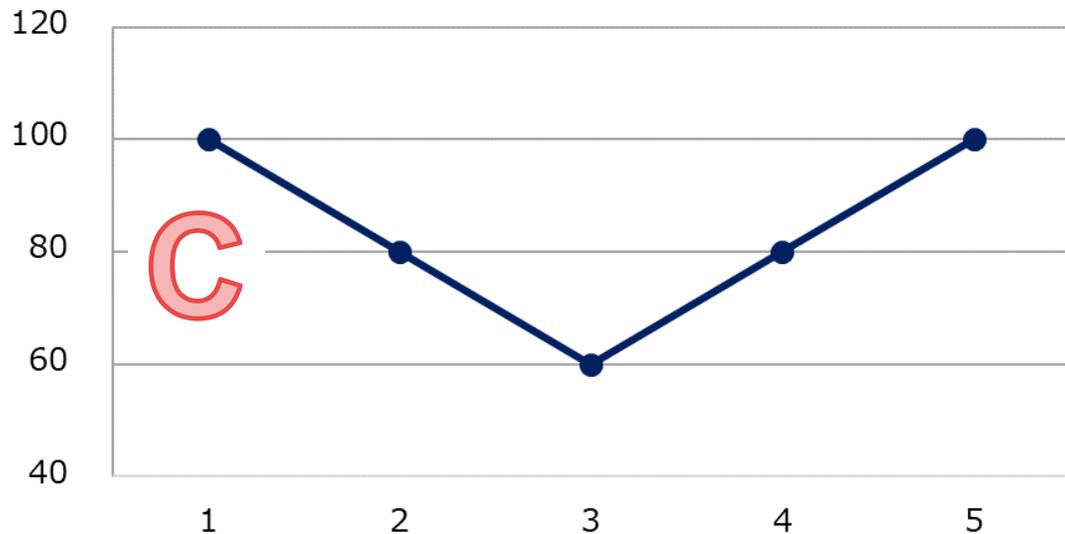
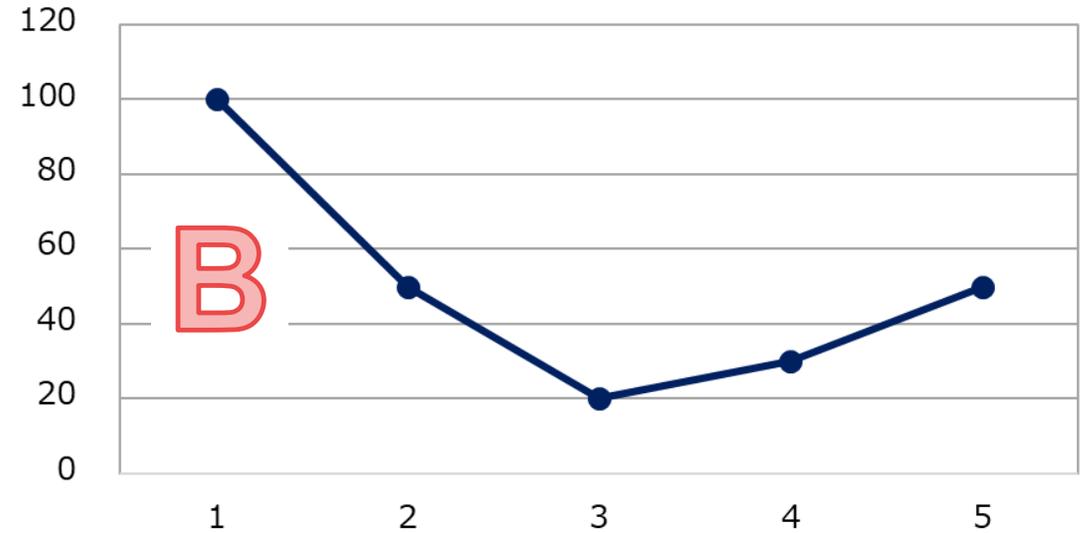
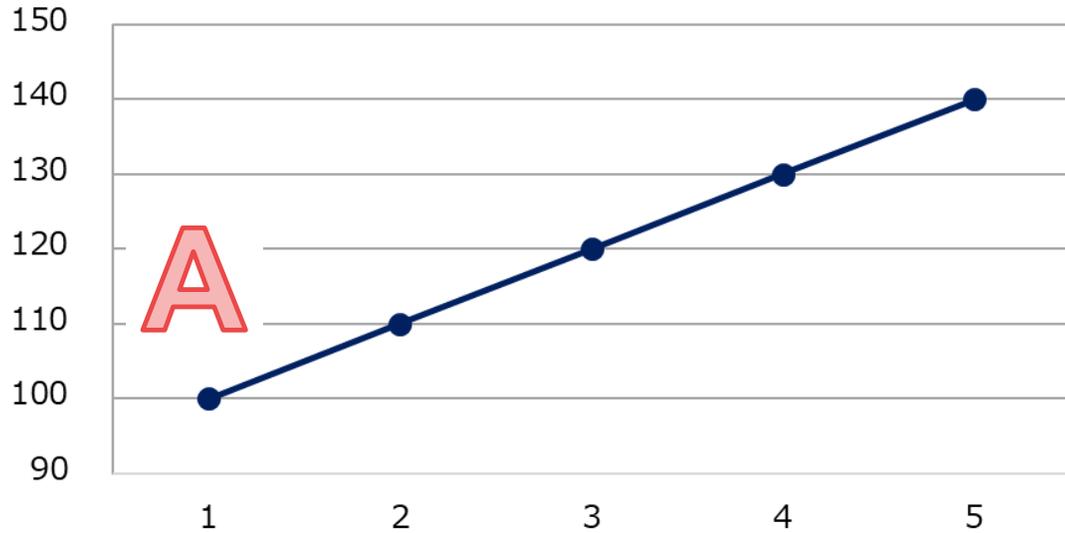
→ 投資信託の基準価額は一般的に、**1万口当たりの価格**をさす

👉 パック売りのお肉をイメージすると分かりやすい

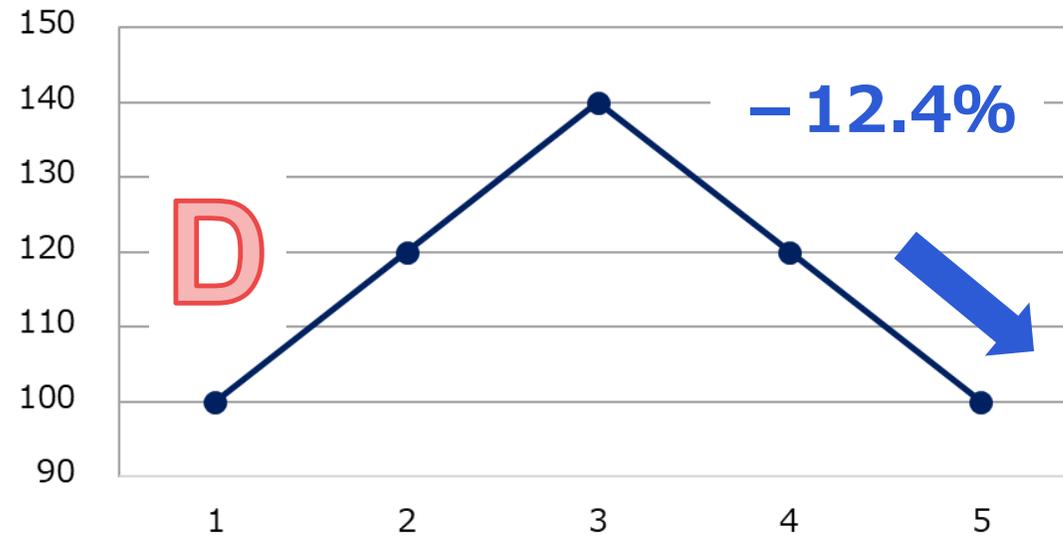
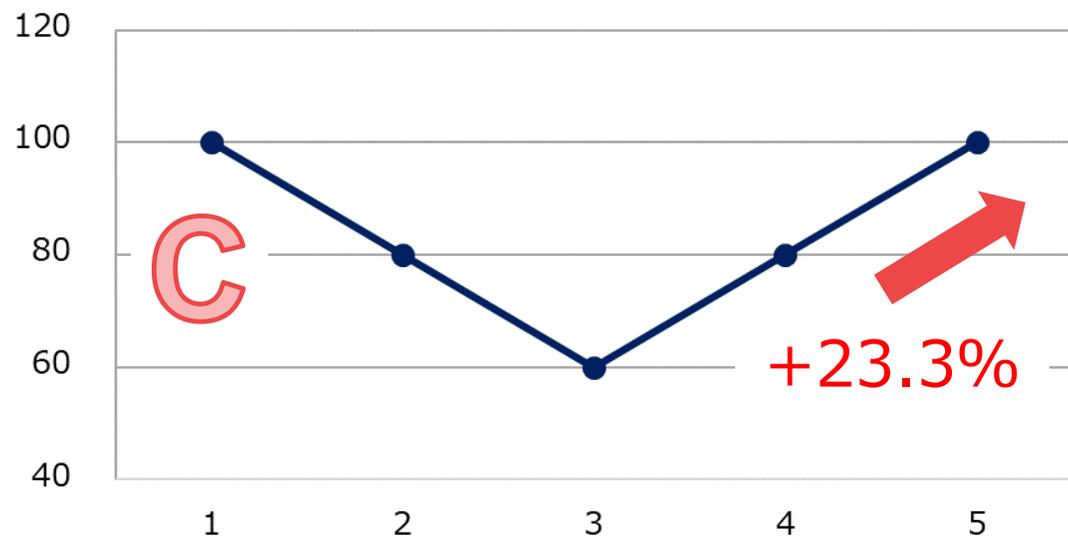
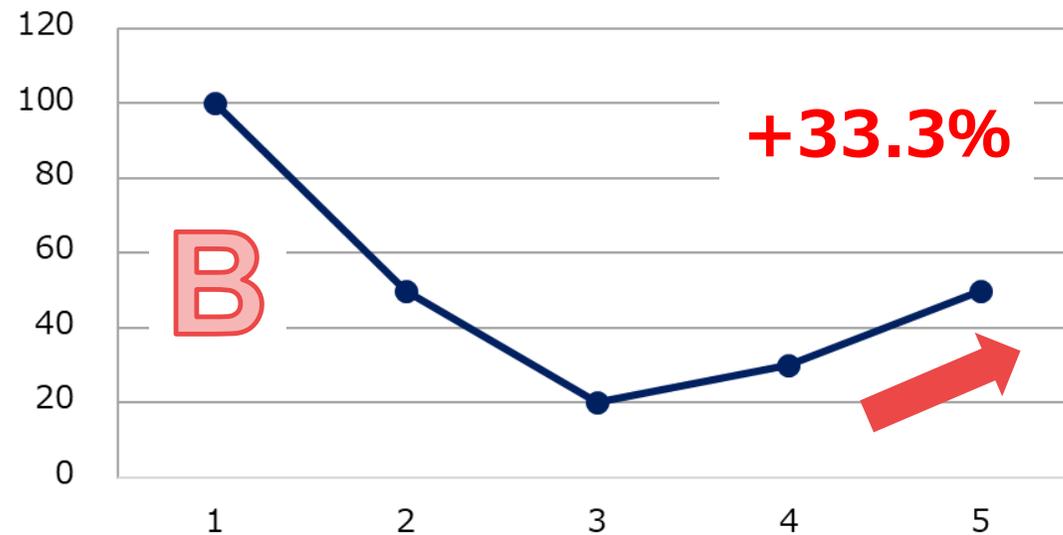
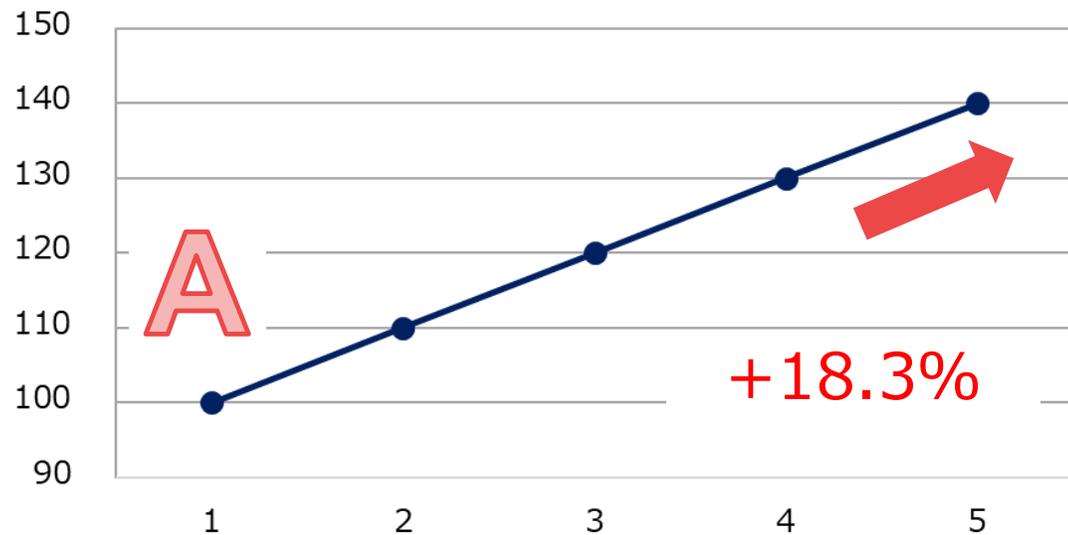
考え方は、
グラム数あたりの値段
と同じ



積立投資効果（リターン）が高い順に並べ替えると…？

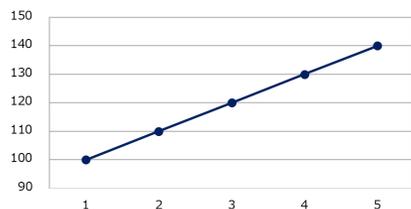


答え : B → C → A → D

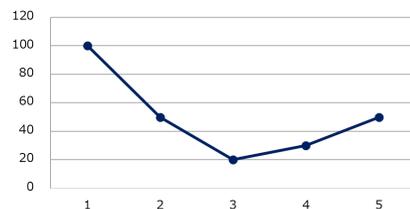


「価格下落時に辛抱強く続けられるか」がカギ

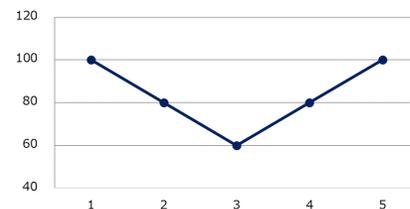
A



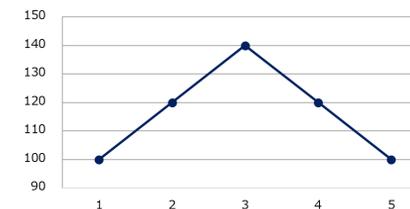
B



C



D



月	投資額
1	100
2	100
3	100
4	100
5	100

価格 (基準価額)	購入口数
100	1.00
110	0.91
120	0.83
130	0.77
140	0.71
合計 :	4.22
評価額 :	590.8

価格 (基準価額)	購入口数
100	1.00
50	2.00
20	5.00
30	3.33
50	2.00
合計 :	13.33
評価額 :	666.5

価格 (基準価額)	購入口数
100	1.00
80	1.25
60	1.67
80	1.25
100	1.00
合計 :	6.17
評価額 :	617.0

価格 (基準価額)	購入口数
100	1.00
120	0.83
140	0.71
120	0.83
100	1.00
合計 :	4.37
評価額 :	437.0

異なる性質の資産を組み合わせる

景気回復期にリターンが期待できる資産

成長(グロース)株

割安(バリュー)株

景気敏感株

高配当株

中小型株

リート

債券

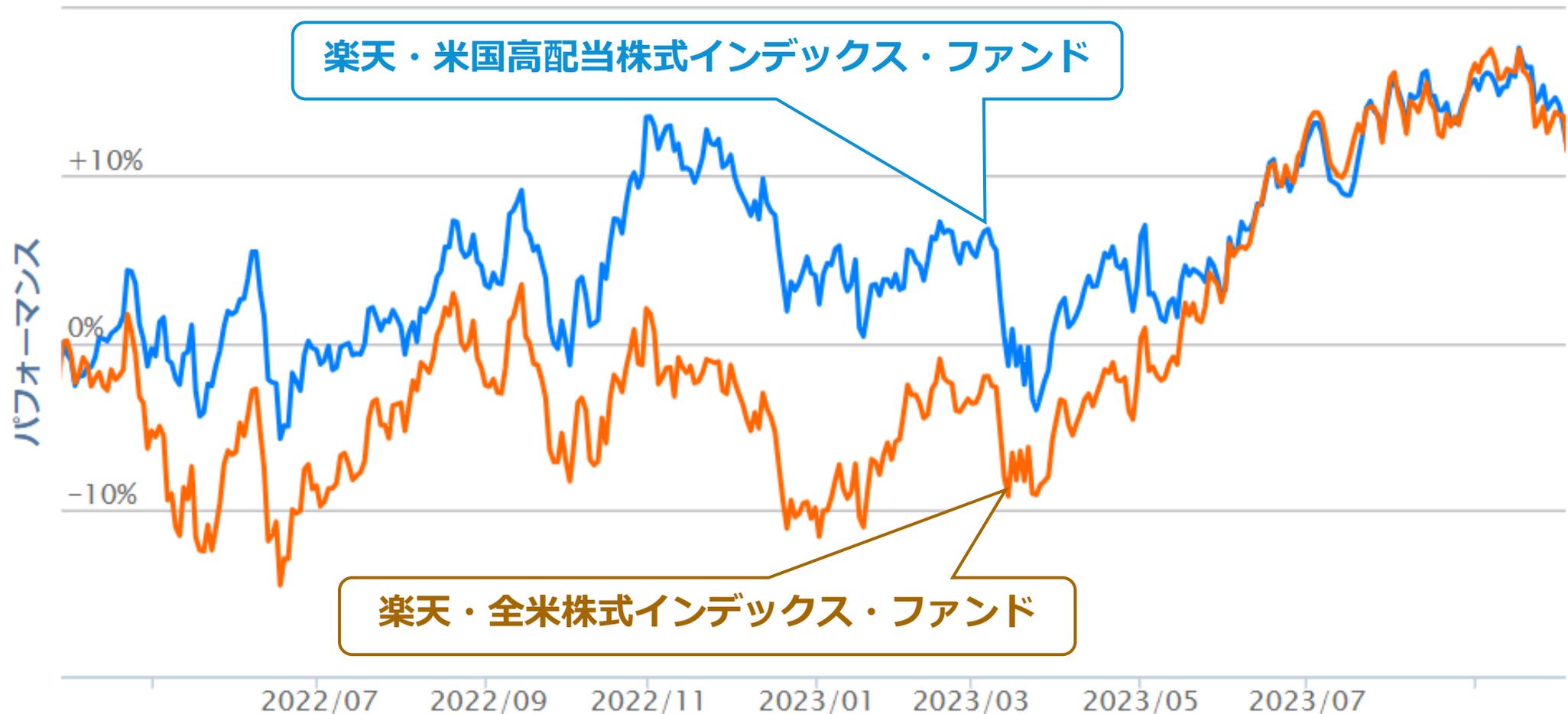
金(ゴールド)

ディフェンシブ株

景気後退期にリターンが期待できる資産

値動きの傾向が異なるファンドを組み合わせる

【2022年4月～トータルリターン（基準価額＋分配金）】

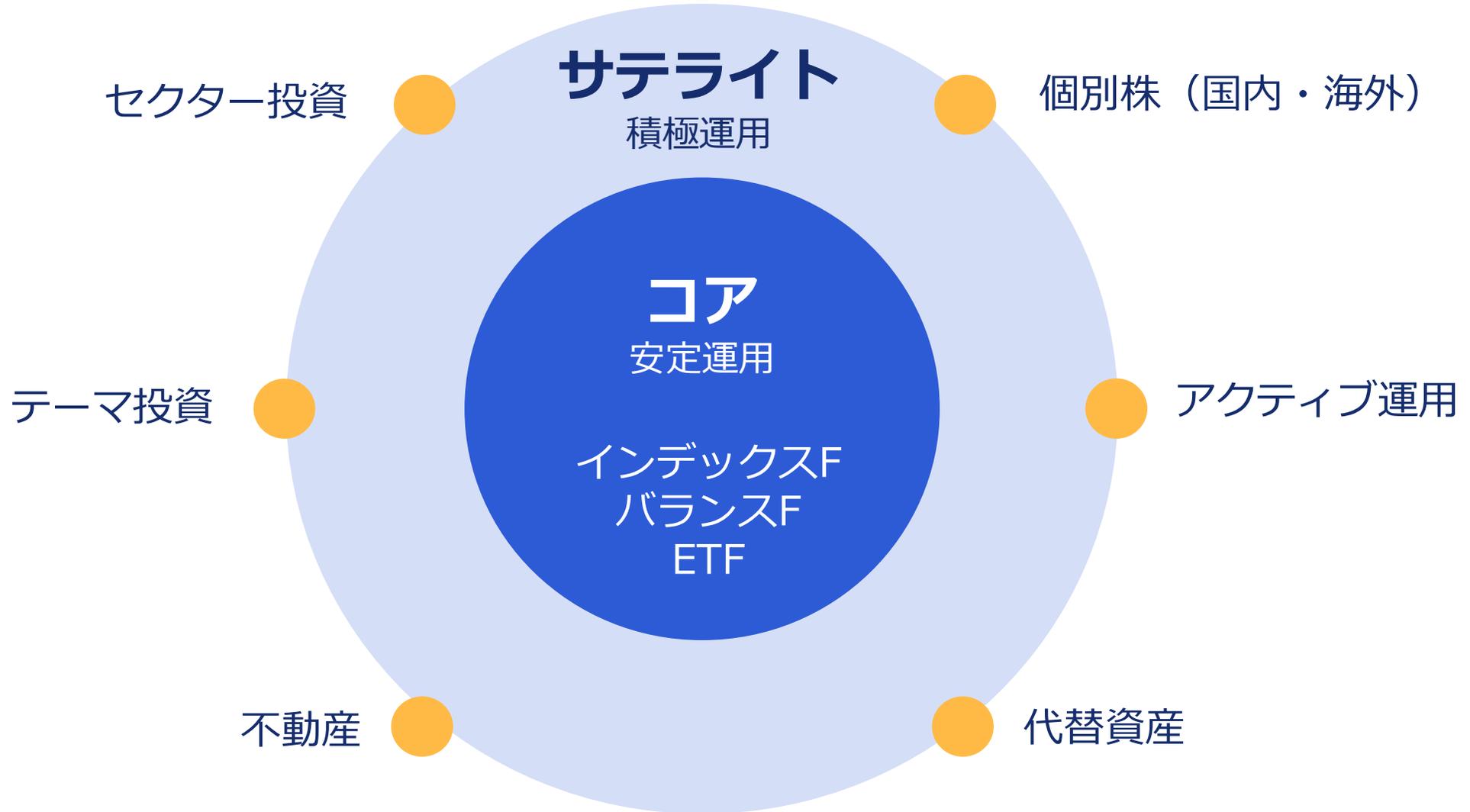


出所：楽天証券「投信スーパーサーチ」2023年10月4日時点

その組み合わせ、分散効果はどのぐらい？

- S&P500と**全米株式**
 - S&P500と**アップル株**
 - **全米株式**と**全世界株式**
- ▶  低い
- **先進国株式**と**新興国株式**
 - **全世界株式**と**均等バランス**
- ▶  やや低い
- S&P500と**金(ゴールド)**
 - S&P500と**高配当株**
- ▶  高い

「コア・サテライト」という考え方



ポートフォリオは少ない本数でも完結する

「コア」部分

「シンプル&低コスト」だけでなく、
長期にわたって保有できる上質なものを



「サテライト」部分

値動きが大きくても、リスクに見合った
リターンを着実に獲得できるものを



ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【投資信託の取引にかかるリスク】

● 主な投資対象が国内株式

組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

● 主な投資対象が円建て公社債

金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

● 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの

組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

【投資信託の取引にかかる費用】

各商品は、銘柄ごとに設定された買付又は換金手数料（最大税込4.40%）およびファンドの管理費用（含む信託報酬）等の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

● お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「買付手数料」：ファンドによって異なります。

● 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用

「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。

● ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用

「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、ファンドの管理費用（含む信託報酬）、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませうお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。各商品のお取引にあたっては、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

【投資信託に関する情報提供について】

- ・ 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- ・ 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・ 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

（楽天証券分類およびファンドスコアについて）

- ・ 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・ 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以上三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 確定拠出年金運営機関 登録番号774

Rakuten 楽天証券